

平成22年8月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年1月8日

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山地 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画グループマネージャー (氏名) 足立 知彦
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

TEL 03-5545-3843

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第1四半期の業績(平成21年9月1日～平成21年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第1四半期	277	11.0	78	120.5	82	70.2	34	22.9
21年8月期第1四半期	249	18.8	35	△42.3	48	△25.6	27	△20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第1四半期	665.31	646.96
21年8月期第1四半期	513.96	490.96

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第1四半期	2,041	1,916	1,916	93.6	93.6	37,057.22
21年8月期	2,203	1,934	1,934	87.6	87.6	37,428.22

(参考) 自己資本 22年8月期第1四半期 1,911百万円 21年8月期 1,929百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
22年8月期	—	—	—	—	—
22年8月期(予想)	—	0.00	—	900.00	900.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	578	8.7	105	7.7	105	△15.8	40	△42.9	775.75
通期	1,240	15.5	280	62.2	280	22.9	140	9.2	2,715.13

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第1四半期	55,131株	21年8月期	55,101株
② 期末自己株式数	22年8月期第1四半期	3,538株	21年8月期	3,538株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年8月期第1四半期	51,577株	21年8月期第1四半期	54,325株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在当社が入手可能な情報から合理的であると判断した一定の条件に基づいたものです。予想は様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は、様々な要因により異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の進展や政府の景気対策の効果等により一部では景気底入れの兆しが見られるものの、企業業績の停滞による設備投資意欲の減退、デフレ懸念や雇用情勢の悪化による個人消費の低迷が続いており、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社は一部では外食市場の環境悪化の影響を受けたものの、主力の出前館事業において、従来の加盟店開発に加えて、集客効果が現れやすい地域の加盟店開発を戦略的に強化するとともに、認知度向上による新規ユーザーの獲得に注力いたしました。平成21年11月度のオーダー数は過去最高となる等、オーダー数、会員数、加盟店舗数ともに順調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の売上高は277,231千円(前年同期比11.0%増)、経常利益は82,048千円(前年同期比70.2%増)、四半期純利益は34,314千円(前年同期比22.9%増)となりました。

事業部門別	前第1四半期会計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)		当第1四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)		増減		前事業年度 (自平成20年9月1日 至平成21年8月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)	金額(千円)	構成比(%)
出前館事業	240,185	96.2	271,693	98.0	31,508	13.1	1,051,934	97.9
広告代理事業	1,857	0.7	2,583	0.9	726	39.1	4,411	0.4
駆けつけ館事業	7,753	3.1	2,953	1.1	△4,800	△61.9	17,681	1.7
合計	249,796	100.0	277,231	100.0	27,434	11.0	1,074,027	100.0

<出前館事業>

出前館事業におきましては、当第1四半期末における会員数は約293万人、加盟店舗数は約9,250店舗、オーダー数は四半期過去最高の約157万件となり、これまでよりも多くのユーザー、加盟店舗に出前館をご利用いただきました。

以上の結果、出前館事業の売上高は271,693千円(前年同期比13.1%増)となりました。

<広告代理事業>

広告代理事業におきましては、企業からのサンプリング広告の出稿意欲減退による影響を受けたものの、新規受注獲得に注力した結果、広告代理事業の売上高は2,583千円(前年同期比39.1%増)となりました。

<駆けつけ館事業>

駆けつけ館事業におきましては、経済環境の悪化に伴う加盟店舗の退店もあり、ユーザーの利便性を向上させるための加盟店舗開発に取り組んでおりますが、オーダー増加に結びつけるまでにはいたりませんでした。

以上の結果、売上高は2,953千円(前年同期比61.9%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末比107,425千円増加し、1,163,453千円となりました。増加の主要因は、未収収益が47,875千円減少したものの、現金及び預金が161,731千円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末比268,768千円減少し、878,241千円となりました。減少の主要因は、長期預金が200,000千円、ソフトウェアが66,160千円それぞれ減少したことによるものであります。

以上により総資産残高は、前事業年度末比161,342千円減少し、2,041,695千円となりました。

負債残高は前事業年度末比144,139千円減少し、124,802千円となりました。減少の主要因は、ポイント引当金が63,769千円、未払金が56,595千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産残高は前事業年度末比17,203千円減少し、1,916,892千円となりました。減少の主要因は、その他有価証券評価差額金が3,136千円増加したものの、利益剰余金が22,404千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、定期預金の払戻による収入等により、前事業年度末に比べ61,731千円増加し、480,715千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は、3,654千円であります。これは主として税引前四半期純利益60,010千円及びソフトウェア臨時償却費61,520千円があったものの、ポイント引当金の減少額63,769千円及び仕入債務の減少額79,650千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の増加は、92,201千円であります。これは主として定期預金の預入れによる支出100,000千円があったものの、定期預金の払戻による収入200,000千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、26,814千円であります。これは主として配当金の支払額28,027千円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、当第1四半期会計期間における業績が概ね計画通り推移していることなどから、予想の見直しは行っておりません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	980,715	818,984
売掛金	150,962	146,724
前払費用	7,781	5,816
繰延税金資産	29,372	33,106
未収収益	17	47,893
未収入金	—	10,500
その他	816	46
貸倒引当金	△6,213	△7,043
流動資産合計	1,163,453	1,056,028
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	8,004	8,004
減価償却累計額	△2,484	△2,290
建物（純額）	5,519	5,714
工具、器具及び備品		
工具、器具及び備品	95,487	94,945
減価償却累計額	△71,117	△68,121
工具、器具及び備品（純額）	24,369	26,823
土地		
土地	139	139
有形固定資産合計	30,028	32,676
無形固定資産		
ソフトウェア	97,099	163,260
その他	—	2,560
無形固定資産合計	97,099	165,821
投資その他の資産		
投資有価証券	673,884	668,600
長期預金	—	200,000
破産更生債権等	445	1,981
長期前払費用	1,288	1,434
差入保証金	19,822	19,822
繰延税金資産	55,290	57,826
その他	828	828
貸倒引当金	△445	△1,981
投資その他の資産合計	751,113	948,512
固定資産合計	878,241	1,147,010
資産合計	2,041,695	2,203,038

（単位：千円）

	当第1四半期会計期間末 (平成21年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	91,890	148,485
未払費用	1,413	1,329
未払法人税等	12,774	43,345
未払消費税等	9,637	8,368
前受金	276	258
預り金	7,145	2,727
前受収益	1,571	533
ポイント引当金	—	63,769
その他	92	124
流動負債合計	124,802	268,942
負債合計	124,802	268,942
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,350	1,106,725
資本剰余金	658,450	657,825
利益剰余金	466,061	488,466
自己株式	△240,358	△240,358
株主資本合計	1,991,504	2,012,659
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△79,611	△82,747
評価・換算差額等合計	△79,611	△82,747
新株予約権	4,999	4,184
純資産合計	1,916,892	1,934,095
負債純資産合計	2,041,695	2,203,038

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 平成20年9月1日 至 平成20年11月30日）	当第1四半期累計期間 （自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日）
売上高	249,796	277,231
売上原価	39,930	42,239
売上総利益	209,866	234,991
販売費及び一般管理費	174,077	156,079
営業利益	35,789	78,911
営業外収益		
受取利息	12,305	2,977
その他	444	197
営業外収益合計	12,750	3,174
営業外費用		
株式交付費	33	37
自己株式取得費用	302	—
その他	2	—
営業外費用合計	338	37
経常利益	48,200	82,048
特別利益		
ポイント引当金戻入額	—	39,482
特別利益合計	—	39,482
特別損失		
ソフトウェア臨時償却費	—	61,520
特別損失合計	—	61,520
税引前四半期純利益	48,200	60,010
法人税、住民税及び事業税	22,548	21,574
法人税等調整額	△2,269	4,121
法人税等合計	20,279	25,696
四半期純利益	27,920	34,314

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	48,200	60,010
減価償却費	14,140	16,079
株式報酬費用	—	814
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,186	△2,365
ポイント引当金の増減額(△は減少)	18,224	△63,769
ソフトウェア臨時償却費	—	61,520
受取利息及び受取配当金	△12,305	△2,977
株式交付費	33	37
自己株式取得費用	302	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,308	△2,702
仕入債務の増減額(△は減少)	13,573	△79,650
その他	317	7,489
小計	84,981	△5,511
利息及び配当金の受取額	3,313	50,853
法人税等の支払額	△82,657	△48,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,636	△3,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	200,000
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△638	△541
無形固定資産の取得による支出	△8,625	△7,256
投資有価証券の取得による支出	△800,000	—
その他	250	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△809,013	92,201
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	2,216	1,212
自己株式の取得による支出	△35,298	—
配当金の支払額	△42,027	△28,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,109	△26,814
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△878,486	61,731
現金及び現金同等物の期首残高	1,044,222	418,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,736	480,715

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。